

貸金請求事件の訴状（請求の趣旨，紛争の要点(請求の原因)）記載例

以下の例は，原告と被告の間で

- ・原告は被告に対して令和3年5月1日に100万円を貸し渡す。
- ・利息は，年10パーセントの割合
- ・返済は，令和3年8月8日に一括支払
- ・遅延損害金は，残元金に対して年15パーセントの割合

と取決めをして，原告は被告に令和3年5月1日に100万円を渡したのに
被告は原告に令和3年8月8日までに返済を全くしなかった。

ので，①100万円の返済②貸付日（令和3年5月1日）から返済期限（令和3年8月8日）までの利息③返済期限の翌日から支払済みまでの遅延損害金を求めるものです。

「請求の趣旨」について

この裁判で，原告が被告に対して要求する結論を書いてください。

請求の趣旨	1 被告【□ら】は，原告 _____ に対し，【 <input type="checkbox"/> 連帯して】次の金員を支払え。 金 <u>1,000,000</u> 円	被告に請求する残元金を書いてください。 (上記の①に該当)
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記の金額【のうち金 _____ 円】に対する 平成・ 令和 3年 5 月 1 日から 平成・ 令和 3年 8 月 8 日まで年 <u>10</u> パーセントの割合による金員	利息の支払を求める場合には， <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> にしてからいつからいつまでの支払を求めるのかとその利率を書いてください。(上記の②に該当)
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記の金額【のうち金 _____ 円】に対する 【 <input checked="" type="checkbox"/> 平成・ 令和 3年 8 月 9 日 <input type="checkbox"/> 本訴状送達の日翌日】 から支払済みまで年 <u>15</u> パーセントの割合による金員	遅延損害金の支払を求める場合には， <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> にしてからいつからいつまでの支払を求めるのかとその利率を書いてください。(上記の③に該当)
	2 訴訟費用は被告【□ら】の負担とする。 との判決【 <input checked="" type="checkbox"/> 及び仮執行の宣言】を求めます。	【 <input type="checkbox"/> 及び仮執行の宣言】 この事件の判決が確定する前に判決の内容に基づいて強制執行をしたいときには， <input type="checkbox"/> を <input checked="" type="checkbox"/> にしてください。

「2 訴訟費用は被告【□ら】の負担とする。」について

「訴訟費用」とは，申立手数料や裁判所を通じて被告などに書類を送った郵便料金などのことです。弁護士等の費用は含まれません。

「紛争の要点（請求の原因）」について

原告が被告に対して「請求の趣旨」の要求をする理由を書いてください。

紛争の要点（請求の原因）	1 原告は、被告 _____ に対し、次の	貸付総額を(2)に書いて、別紙の「貸付計算書」に貸付日及び貸付金額を書いてください。
	(1) 貸付日 別紙「貸付計算書」に記載のとおり	
	(2) 貸付金額 総額 <u>1,000,000</u> 円(別紙「貸付計算書」を参照)	
	(3) 利息の定め <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 年 <u>10</u> パーセント <input type="checkbox"/> _____	(3)は利息の取決めについて書いてください。
	() <input type="checkbox"/> ただし、利息制限法所定の制限利率により請求する。	
	(4) 損害金の定め <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 年 <u>15</u> パーセント <input type="checkbox"/> _____	(4)は遅延損害金の取決めについて書いてください。
	() <input type="checkbox"/> ただし、利息制限法所定の制限利率により請求する。	
	(5) 返済期の定め	(5)は返済の定めについて書いてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 一括支払 平成・令和 <u>3</u> 年 <u>8</u> 月 <u>8</u> 日	
	<input type="checkbox"/> 分割支払 平成・令和 _____年 _____月 から 平成・令和 _____年 _____月まで毎月 _____日限り _____円ずつ	
<input type="checkbox"/> その他 _____		
<input type="checkbox"/> 返済期の定めはない		
[<input type="checkbox"/> 被告 _____ に対し、平成・令和 _____年 _____月 _____日 【 <input type="checkbox"/> 内容証明郵便 <input type="checkbox"/> その他(_____) 】 により返済を催告した。 <input type="checkbox"/> 本訴状の送達により返済を催告する。]		

「返済期の定めはない」場合で

・被告に返済を催告したことがある場合

被告に催告した日(内容証明郵便の場合は、被告に内容証明郵便が届いた日)を記載し、催告した方法も書いてください。

・被告に催告したことがない場合

「本訴状の送達により催告する。」のに と書いてください。

紛争の要点（請求の原因）

(6) 期限の利益喪失特約条項の定め

無

返済期日の前に全額返済を求めることができる取決めがある場合は、その内容を書いてください。

支払を _____ 怠ったとき

その他 _____

(7) 連帯保証人

無

連帯保証人について書いてください。

被告 _____

(平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日付け保証を証する書面あり)

2 返済状況

返済なし

返済状況について書いてください。「一部返済あり」の場合は総額を書いて別紙の「貸付計算書」に返済日と返済額を書いてください。

一部返済あり 返済があった総額 _____ 円

(最後に返済があった日 別紙「貸付計算書」に記載のとおり)

期限の利益喪失日 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

3 よって、原告 _____ は、被告【 □ら 】に対し、請求の趣旨記載の支払を求める。

「期限の利益喪失日」は上記1(6)の条件が成立した日を記載してください。

【その他の参考事項（本件の背景事情、これまでの交渉経緯等）】

_____ 返済期の経過後、原告から被告に支払を催促したが、返済は全く
_____ なく、次第に原告からの電話にも出なくなった。

「その他の参考事項」は、これまでの交渉経緯や被告が支払をしない理由（被告からの反論の内容など）を書いてください。

